

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
消化器内科学

【研究課題名】

好酸球性食道炎およびPPI 反応性食道好酸球浸潤における臨床的検討

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2017年3月31日

【研究の意義・目的】

好酸球性食道炎は食物や空気中の物質により引き起こされるアレルギー疾患であり現在増加傾向にあります。その中で、酸分泌抑制剤であるプロトンポンプ阻害剤（PPI）が有効なものが報告されており、それらはPPI 反応性食道好酸球浸潤と呼ばれておりその病態はまだまだ明らかではありません。両疾患についての病態を理解し新たな診断と治療法の開発につなげるため、研究を行います。

【研究の方法】

上記の疾患と診断されている患者様について、診療録に記載・保存されている内容や検査結果を用いて両疾患の特徴などについて比較検討を行います。

【研究組織】

研究責任者 須川 貴史
大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 須川 貴史
大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学
電話 06-6645-3811